

もっと笑顔で、暮らせる明日へ。

# aito

11

Nov 2022  
No.332





藤島支所管内  
「書成会」のみなさん



私たち、藤島地域の女性部員で集まり、月に1回藤島支所で練習会をしています。習字をたしなんでいた方や、初めての方も多く楷書・行書・小筆など好きな書き方で習字をしています。筆で綺麗に文字を書くため、絵に活かすためなどそれぞれ目的を持って頑張っています。

習字は、生活の中で物事を忘れ集中できる時間であり、新しい漢字を覚えることができたり他の人の字に興味が湧いたりとてもおもしろいです。年に1回反省会を行い会員らとの交流も大切にしています。上手く書けず壁に当たることもありますが、諦めずに挑戦を続けながら、何より会全体で楽しく書くことが一番成長に繋がります。

今後もみんなで楽しく習字を続け、盛り上げていきたいです。新規会員も募集しておりますのでぜひ私たちと一緒に習字を楽しみましょう。

### 思いやりのある優しい子に育ってね！

三川支所管内  
さいとう かづみ・ひなみ みちか  
齋藤 克光くん(5)・陽柳美ちゃん(3)・光華ちゃん(0)



克光くんは、繊細で優しいお兄ちゃん。絵を描いたり、紙で工作をしたり、手先が器用です。活発で好奇心旺盛な陽柳美ちゃんは、どんぐり拾いがマイブーム！うどんが大好物です。ちょっと寂しがり屋な光華ちゃんは、お兄ちゃんお姉ちゃんが大好きでいつも一緒に遊んでいます。



### ファミリーファーム



#### 引き継いだ米栽培を続けていく

みうら ゆうじ  
温海支所管内 三浦 祐二さん(84)  
はるひこ なな  
治彦さん(51)・菜愛ちゃん(7)

(祐二さん) 私は28歳の頃から農業を始め、現在も引き続き水稻栽培を続けています。もともと実家が農家だったこともあり、結婚後も引き継ぐような形で兼業農家となりました。JA指導員の指導を基準に栽培を行っている他、地域の稻作組合で情報交換しながら日々勉強しています。草刈りや水管管理など大変ですが、息子と協力して一等米比率が高い高品質な米が収穫できたときはやりがいを感じます。

(治彦さん) 私は、会社勤めをしながら兼業で父と農業を始め約5年になります。小さい頃から手伝ったり田んぼで遊んだりしていたため、農業は身近な存在でした。天候に左右される作物なので、父や地域の方の技を参考にしながら、まずは基本をしっかりとこなすように心掛けています。今後は、現状維持に努めながら家庭菜園などにも取り組んでいきたいです。

### 庄農生トライ

あんどう さら  
食料生産科3年 安藤 彩空さん

SHONOSEI TRY

#### 食育を通して伝えたいこと



私は庄内農業高等学校で農業を学び、食育に対して興味を持ちました。食べる事は生きる事であり、今改めて「食」が重要視されています。近年子供の朝食欠食の増加や偏食などが問題になっています。そこで私は課題研究という授業で小さい子供たちにもっと「食」に興味をもってもらいたいと思い、サツマイモの収穫体験や遊びを通して野菜の名前を覚えてもらうなどの活動をしています。私は卒業後、幼稚園保育の専門学校に進学します。この経験を生かして子供達に「食」の大切さを伝えられるような保育士になりたいと思います。

## 主な質疑応答

**質** 新聞の報道に総代の人たちが知り得ないことが掲載されており、順番が違うのではないか。総代の人達を蔑ろにしているように感じられる。

**答** 10月8日付の新聞報道につきましては、10月7日に当該地区である立川支所、新余目支所の組合員・利用者の皆さまに對し今回の顛末について臨時総代会前に説明を申し上げたことが新聞報道されたものであります。

**質** 当該不動産業者2社に対し庄内では、様々な不動産会社がある中で誰が、何社に声をかけて当該2社に決めたのか経緯を伺う。



# 臨時総代会開催

J A庄内たがわは10月18日、庄内町のJA新余目支所で臨時総代会を開催しました。新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で開催し、総代434名（実出席196名、書面出席234名、代理出席4名）が出席し、議長に櫛引支所下山添地区総代の三浦和彦さんが選出され、上程した3議案が原案通り承認されました。

**質** 当該2社に決まった経緯について、当組合からアプローチしたものではありません。オファーがあり、そのうえで、組合内部において種々の検討を重ね、新余目支所を売却する計画で総代会に提案したものです。

新余目支所の施設が無くなってしまうものであり、同じ庄内町の管内にある立川支所についても老朽化しており、いずれ改修あるいは解体、新設しなければならないと推察をしていたことから、両支所を統合し、北部支所の設置を計画した経緯であります。

尚、契約書等は取り交わしておりません。契約をする前に計画を総代の皆さんにお計らいをして、承認後に交渉し売却と用地の取得という予定であります。

**質** 新余目支所施設についてもう少し我慢し、ひび割れ等をコーティングして修繕すれば吉方にも移設せずに済むのではないか。この建物を残すことを希望する。総代会で決議しても計画が実行できないことは、執行部の責任であり、理事会でもっと意見を揉んでもらいたい。

**答** この施設については、平成元年に建設した建物で35年近く経つておらず、残り15年間の償却期間がありますが、現在においては大変老朽化しております。天守閣の軒下の部分は数年前に現地施設については大変老朽化しております。その他の、イグゼアマーネのブール事業は撤退しましたが、1階事務所の天井の大きなシミは、ブールからの配管の漏水によるもので、非常に厳しい施設の維持管理となつております。具体的に申しますと年間3,000万円で解体し、更地にして売却すれば当然その分も費用としてみなければならぬので、売却予定価額であった2,000万円を加味すれば3億2千万円になります。

今回の売却については、売却先が解体する、あるいはここを再利用するのか分かりませんが、現状渡しで良いとの申し出がありました。よって土地の評価額などを鑑みて2,000万円という売却予

定価額としました。しかし、今回契約には至らなかつたものであり、総代の皆様にはご理解を頂ければと思います。

今後の支所再編については、本所を含めた9か所での事業運営が出来れば大変良いのですが、社会情勢、経済情勢、農業情勢、また少子化に依りまして、組合員の数も減っております。今の農協の体制を維持出来れば良いのですが、地元にある身近な支所を閉鎖したいと思っている役職員は一人もおりません。この状況の中でなんとしても、農協を無くす訳にはいかない、皆さんの扱い所として存続していくしかなければならないものであり、どうぞご理解の程よろしくお願いします。

農協施設について建物更生共済に加入しているのか伺う。

**質** 皆様が加入しております、「むてき」という建物更生共済には加入できませんので、団体建物火災共済に加入しております。

**答** 今後の経過につきましては計画等を示して参りますので、ご意見を参考にさせて頂きます。

不動産開発会社が何のために開発をするのかという本質を深く調査せずに甘い言葉に乗せられた結果、新余目支所の売却及び北部支所の用地取得に

## 新任役員のご紹介

### 常勤理事1名

臨時総代会終了後に開かれた臨時理事会において、信用事業選任理事が決定致しました。



常務理事

佐藤 茂春  
(鶴岡市・大西町)

**所信** 農業・農協を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。JAの持つ社会的責任と公共的使命の重みを意識するとともに、JA職員として培ってきた知識と経験を活かし、経営の健全性と信頼性の確保に向け、更なる自己研鑽に努め、組合員・利用者の負託に応えるために、全力を尽くす所存であります。

今回の売却については、売却先が解体する、あるいはここを再利用するのか分かりませんが、現状渡しで良いとの申し出がありました。よって土地の評価額などを鑑みて2,000万円という売却予

定価額としました。しかし、今回契約には至らなかつたものであり、総代の皆様にはご理解を頂ければと思います。

今後の支所再編については、本所を含めた9か所での事業運営が出来れば大変良いのですが、社会情勢、経済情勢、農業情勢、また少子化に依りまして、組合員の数も減っております。今の農協の体制を維持出来れば良いのですが、地元にある身近な支所を閉鎖したいと思っている役職員は一人もおりません。この状況の中でなんとしても、農協を無くす訳にはいかない、皆さんの扱い所として存続していくしかなければならないものであり、どうぞご理解の程よろしくお願いします。

農協施設について建物更生共済に加入しているのか伺う。

**質** 皆様が加入しております、「むてき」という建物更生共済には加入できませんので、団体建物火災共済に加入しております。

**答** 今後の経過につきましては計画等を示して参りますので、ご意見を参考にさせて頂きます。

不動産開発会社が何のために開発をするのかという本質を深く調査せずに甘い言葉に乗せられた結果、新余目支所の売却及び北部支所の用地取得に

ついて白紙に戻ったのではないか。

**質** 調査が甘かつたということについて、交渉はござる通りです。新余目支所の売却にかかり、旧アピア側についても、JA新余目支所が取得して開発を行っており、新余目支所についても当初一的な開発を行うと説明があり、当該2社と交渉に入ったものであります。

本案件の責任につきましては、今後の支所の再編なども含めて、組合の経営を適切に執行することで、職責を果たして参りたいと思いますので、ご理解を願います。

JA庄内たがわは10月18日、庄内町のJA新余目支所で臨時総代会を開催しました。新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で開催し、総代434名（実出席196名、書面出席234名、代理出席4名）が出席し、議長に櫛引支所下山添地区総代の三浦和彦さんが選出され、上程した3議案が原案通り承認されました。

**質** JA庄内たがわは10月18日、庄内町のJA新余目支所で臨時総代会を開催しました。新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で開催し、総代434名（実出席196名、書面出席234名、代理出席4名）が出席し、議長に櫛引支所下山添地区総代の三浦和彦さんが選出され、上程した3議案が原案通り承認されました。

新余目支所売却取消経過

3月1日	新余目支所の買受申込を受け、帝国データバンクでの株式会社栄地建、株式会社相互不動産の財務調査の実施。
6月2日	山形新聞に秋田の不動産業「秋田医療福祉」同社の社長が仙台国税局に告発される報道がされる。
6月8日	外部の連絡で、新余目支所売却予定先の1社（相互不動産）社長と同姓同名の方が、脱税で告発されていると連絡が入る。
6月13日	常勤役員会議で対応を協議。
6月16日	臨時理事会を開催し、非常勤理事に対して、本事案の状況を説明。
6月23日	6月6日以降情報収集及び、相互不動産社長に連絡し、同一人物である旨返答があり、本人が入院中で退院後近く秋田で記者会見を開き説明する旨連絡が入る。
7月5日	第27回通常総代会に出席するが、脱税の疑惑により告発された代表者が、脱税で告発された代明し承認を得る。
6月23日	第27回通常総代会の承認後、正式に売却先2社と交渉を行うが、交渉事であり双方合意に至らない場合は、契約に至らない旨説明する。
6月23日	売却先2社の代表者と面談し、脱税、売却後の開発について再度説明を受け、脱税の疑いにより告発された代明し承認を得る。

## サトイモ・肥大良好、安定出荷に期待

里芋部会は10月4日、羽黒地域のJA集出荷場で収穫最盛期を前に目揃え会を開いた。参加した部員約10人は、同部会長の丸山真太郎さんと園芸特産指導員から、出荷規格や収穫後の留意点などを確認し、高品質出荷への意識を統一した。今年産は降雨が多く肥大傾向にあり、3L・2Lサイズの収穫に期待が高まっている。また、新規作付け生産者が2人増え、同部会計26人で安定生産へと繋げていく。丸山部会長は、「収穫後の作業として扇風機などで早期乾燥に努める他、遮光や湿度管理に留意し、サトイモの緑化を防止することをアドバイスした。また、規格ごとの選別の判断も綿密に行うこととした。



## 椎茸・目揃え会で出荷規格を確認

しいたけ部会は10月18日、三川町のJA集出荷施設で目揃え会を開いた。部員約10人が参加し、等級・階級や調整作業のポイントなどを入念に確認した。この日は、園芸特産指導員が出荷時の留意点を説明。肉厚・色沢良好で水分が少ないものをA品とし、水分を過剰に含んでいるものは取り除くようアドバイスした。今年産の生育は、9月～10月の寒暖差により順調に推移している。また、この日は共励会も行われ、菌床あたりの出荷数量が多い上位3人を表彰し、部員らの栽培意欲の向上を促した。JAは、年間販売高1.1億円、取扱数量110tを目指とし、主に関東市場へ出荷していく。



## 焼き畑あつみかぶ・大玉収穫がスタート

温海地域の温海川中小屋高原赤かぶ組合では現在「焼き畑あつみかぶ」の収穫が行われている。同組合長である忠鉢直大さんの圃場では、S～Lに分類される規格のうちLサイズの収穫を行った他、Sサイズに満たないカブを間引きした。今年産の生育は、8月の曇天による日照不足により初期生育が遅れたが病害虫被害はなく高品質に推移。忠鉢組合長は「例年より収穫最盛期が遅れているが、11月末まで収穫は続くので高品質な焼き畑あつみかぶをお届けしたい」と話した。同組合が栽培する1.1haの圃場は、組合員11名で区画割しており、10月末には組合員家族で続々と収穫が行われ賑わいを見せた。



## ストック・出荷に向け調整作業方法を確認

花き部会ストック専門部は10月19日、庄内町のJA花き集出荷場でストックの目揃え会を開いた。参加した部員約50人は、出荷規格や調整作業方法を確認し、園芸特産指導員から調整作業の説明を受けた。開花輪数・枚数に留意して収穫する他、下葉は草姿のバランスに合わせて切り落とすよう呼び掛けた。今年産の生育は、スプレー系の開花が例年よりやや早く、スタンダード系は例年よりやや遅い傾向。今後は、平年の発芽早い・摘心時期を参考にしながら温度管理によって生育を調整していく。JAは、出荷量110万本を目標とし、主に関東や関西、北海道の市場へ来年4月まで出荷していく。



地域とJAを結ぶネットワーク 各地の話題を追って

# J A N E W S

掲載記事の詳細はホーム  
ページに掲載しております



## 庄内柿・今年も高品質な大玉が続々出荷！

秋の味覚「庄内柿」が旬を迎える。今年は10月5日から集荷作業をスタート。高温の影響で2～3日ほど着色に遅れが見受けられたが、すぐりもぎを意識して収穫し、羽黒地域のJA中部選果場には艶やかな光沢のある大玉の早生柿が続々と出荷され場内は活気に溢れた。10月14日には、同選果場で庄内柿の出発式を開き、JAの小林馨常務理事をはじめ、県庄内総合支庁農業技術普及課や鶴岡市、JA全農山形などの関係者ら約20人が出席。輸送・選果安全と高価格販売を祈願する神事やテープカットを執り行った後、参加者らの拍手に包まれ600ケース（約5t）の庄内柿を積んだトラックが主要消費地である北海道へ出発した。

今年産の生育は「刀根早生」が10月下旬、主力品種の「平核無」が11月上旬に収穫の最盛期となった。着果数は平年並みに確保できており、L玉を中心とした大玉傾向で順調に生育が推移した。約2200tの庄内柿が北海道や関東の市場へ向け11月下旬頃まで出荷される他、YouTubeや市場関係者へSNSも活用し魅力をPRしていく。



## 軟白ネギ・適期の栽培管理で高品質に仕上げる

長ねぎ部会は10月27日、三川町で冬季に収穫が始まる長ねぎ「軟白ネギ」の圃場4ヵ所を巡回し、参加した部員約10人が生育状況や栽培管理のポイントを入念に確認した。今年産は、8月の降雨と日照不足により生育が停滞したが、ハウス管理などを徹底し高品質に仕上げていく。県庄内総合支庁農業技術普及課の担当職員によると、土壤が乾いている場合は灌水を行う他、ハウス内の湿度管理や病害虫防除に心掛け収量確保に努めるよう呼び掛けた。また、フィルムの設置は生育を確認し、適期を逃さずに実施することとした。同部会では今後、12月上旬に目揃え会を開き、規格を確認する予定。



## カーブミラーで地域住民の交通安全に貢献

JAとJA共済連山形は10月13日、地域住民の交通安全や事故防止に役立ててもらおうと三川町にカーブミラー4基を寄贈した。太田政士組合長ら役職員が三川町役場を訪れ、阿部誠町長に目録とカーブミラーのレプリカを手渡した。阿部町長は「毎年寄贈していただきありがとうございます。いただいたカーブミラーは交通安全の他、町民の生活の安全に貢献している。様々な面で有効的に活用していきたい」と話し笑顔で受け取った。この取り組みは、地域貢献活動の一環として1973年度から行っている。今年度は同町の他、10月4日に庄内町へ6基寄贈、11月中旬には鶴岡市へ21基を寄贈する。



秋といえばやっぱり…

# 庄内柿



秋の味覚であり、庄内地方の風物詩「庄内柿」。甘くて柔らかく、上品で食べやすい果物です。大きく実った庄内柿は皆様の手元へ届く前に、炭酸ガスやアルコールで渋抜き作業を行います。今回は、アルコールを用いた庄内柿の脱渋方法をご紹介します。



## 庄内柿の脱渋方法



35度のアルコールを用意する。



柿のヘタをアルコールに浸す。



吸収パッドを敷いたポリ袋の中に柿を入れる。



最後に袋を閉じ、平核無は1週間、早生種は5日程度、渋が抜けるのを待つ。



吸収パッドを中に敷くことで  
柿の黒ずみを防ぎます。

渋が抜けていることを  
確認したら完成！

## JA職員が農業研修で庄内柿を収穫

JAに入組し今年度中に30歳を迎える職員1人が、10月31日～11月2日と4日の4日間、管内の農家へ赴き農業研修を行った。本所信用部融資課の奥田純平さん(30)は、櫛引地域の遠藤幸男さんが栽培する庄内柿の圃場で収穫作業などを体験した。遠藤さんは「生産者の現場を

実際に見てもらう機会があるのは良いことだ。安全に留意して作業を頑張ってもらっている」と話した。



## すくすく育った牛たちに農家ら笑顔

羽黒地域にある月山高原牧場で10月31日、地形を生かした強健な体質作りに繋げようと放牧していた和牛や乳牛の下牧作業が行われた。庄内地方一円の39農家から預かった牛109頭が体重と体高を計測後、各畜産農家のものとへ帰された。牛たちは、5月17日の入牧から168日間、標高350m、広さ約100haの放牧地ですくすくと大きく成長し、迎えに来た農家らは笑顔を見せていた。



## パルシステム埼玉と稻刈り交流会を開催

庄内米の魅力発進と組合員同士の交流を図ろうと生活協同組合パルシステム埼玉の組合員が10月8日、鶴岡市平田地区で稻刈り体験を行った。この日は同組合員親子ら約30人と庄内産直ネットワーク会員、JA職員らが参加。約30haの田んぼに田植え交流会で手植えしたお米「つや姫」の稻を手刈りで収穫した。



## 手植えしたお米をみんなで稻刈り

庄内町立余目第四小学校の5年生児童約30人は10月21日、地元生産者の水田で県産米「はえぬき」の稻刈りを体験した。この日は、JA青年部新余目支部の指導のもと、鎌を使った稻刈りの方法を学んだ。同部員は稻を約10束ごと刈り取っていくよう呼び掛け、児童らは協力し合い稻刈りを体験した。参加した児童は「自分たちで植えた稻を収穫することができて嬉しい」と笑顔で話した。



## 山形セルリーの漬物が最優秀賞受賞

羽黒・のうきょう食品加工有は、山形市の山形国際ホテルで開かれた山形のうまいもの「ファインフードコンテスト」惣菜部門において同社で加工している浅漬け「山形セルリーわさび風味」が最優秀賞を受賞した。同社の橋本俊一室長は「素晴らしい賞をいただき光栄である。

今後さらなる商品を生み出したい」と話した。商品は、直売所・トーハウス・庄内観光物産館などで12月上旬まで販売される。



1袋80g 250円（税込）

金賞おめでとう!

# よりぞう ぬりえ

信用部ではCS(お客様満足度)改善ミーティングの取り組みで、幅広い年齢層から信頼される金融店舗を構築するため、各支所の信用窓口でよりぞうの塗り絵を展示しました。今年度は、8月に小学生以下を対象に募集し、9月から10月上旬まで各支所で飾らせて頂きました。管内で474通の応募があり、その中から各支所の金賞に選ばれた8人をご紹介致します。



〔特〕名月に 奇り添い木星 鶴岡市東岩本 小野寺弥一  
〔特〕茹道で 炊く赤飯の 新小豆 鶴岡市本郷 小野寺一郎  
〔特〕蒸籠で 炊く赤飯の 新小豆 「計量器の種類は目が良い福を育んだ田や畦道は高い所から見なくても穂物を捕獲出来る。かけを落しての表現でわかる」  
〔特〕台風来 煙の支柱の 多かりき 鶴岡市東岩本 高梨 秀子  
〔特〕芭蕉句碑 もみぢの古道 人拓く 「計量器の種類は目が良い福を育んだ田や畦道は高い所から見なくても穂物を捕獲出来る。かけを落しての表現でわかる」  
〔特〕昭和から 使ひし鍵 小豆干す 鶴岡市越中山 佐藤 照子  
〔特〕結界の 句碑を洗ふや 秋の雨 鶴岡市越中山 菅原しづ子  
〔特〕秋氣澄む 入定塚の 薄明り 鶴岡市越中山 菅原しづ子  
〔特〕は特選、〔特〕は添削 渡部 嘉

## 「心の声」12月号投稿のテーマ

「広報誌aitoに  
あつたらいいなと思う企画は?」

【応募方法】下記の①～③を郵便はがき・Eメールにご記入の上ご投稿ください。①テーマの答え(本紙やホームページ等で掲載致します)②住所・氏名・年齢・電話番号③広報誌の感想、JAへの意見・要望など

【あて先】JA庄内たがわ広報情報係  
〒999-7611  
鶴岡市上藤島字備中下3-1  
E-mail kouhou@ja-shonai.or.jp  
【しめさり】令和4年11月30日㈬

※投稿頂いた方の個人情報は、目的以外には使用いたしません。

今月のプレゼント

豊穣神話 甲州

2名様

議案報告	理事会だより
令和4年10月18日火 臨時理事会	令和4年10月31日木
〔議案〕 第1号 常勤労員体制について (案)	〔議案〕 第1号 上半期仮決算実績検討について (案)
第2号 組織機構の一部改定について (案)	第2号 第1号 上半期仮決算実績検討について (案)
第3号 資産査定要領の一部変更について (案)	第3号 第2号 組織機構の一部改定について (案)
第4号 令和4年度内部監査計画書の一部変更について (案)	第4号 第3号 第1号 常勤労員体制について (案)
第5号 事務リスク管理規程の一部改正について (案)	第5号 第2号 組織機構の一部改定について (案)
第6号 市町に対する令和5年度農林予算編成の要請について (案)	第6号 第3号 第2号 第1号 常勤労員体制について (案)
以上2議案 慎重に審議され原案通り決定されました。	以上2議案 慎重に審議され原案通り決定されました。
〔その他〕 第8号 農床推奨金の一部変更について (案)	〔その他〕 第8号 農床推奨金の一部変更について (案)
報告について 第9号 理事と組合間の利益相反取引承認について (案)	報告について 第9号 理事と組合間の利益相反取引承認について (案)
第10号 令和4年度みどり監査法人期中監査における内容の報告について 第11号 市町に対する令和5年度農林予算編成の要請について (案)	第10号 令和4年度みどり監査法人期中監査における内容の報告について 第11号 市町に対する令和5年度農林予算編成の要請について (案)
以上8議案 慎重に審議され原案通り決定されました。	以上8議案 慎重に審議され原案通り決定されました。

## 庄内たがわ 産直んめ農マルシェ 11・12月イベントのお知らせ

11/19㈯・20㈰ 庄内産の豚肉、牛肉が通常価格よりお安くお買い求めいただけます。

**消費拡大フェア** 10%割引に!※一部商品を除く。  
当店でお買い上げの商品発送時の送料割引!  
お米 南先着50名様 2,000円以上をお買い上げのお客様にワイン(360ml)プレゼント。

12/3㈯・4㈰ 対象商品 お米の日 10%割引!  
※一部商品を除く。

JJAカードでお買い上げの方は 請求時に5%割引!

10月から3月までの営業時間9:00～17:00(定休日:1/1～3, 1～3月の第2・第4水曜日)  
〒997-0824 鶴岡市日枝字小真木原88-1 TEL0235-25-6778 FAX0235-26-7880  
E-mail sanchoku@ja-shonai.or.jp オンラインショップ 産直んめ農マルシェ 検索

農産物を出荷していただける産直協力会員を随時募集しています!

## 令和4年度 期中人事異動について

発令: 令和4年10月18日

新職名	氏名	旧職名
総務部長 兼経営企画部長	平向 秀一	総務部長
経営企画部次長 兼企画課長 (次長級任用)	上野 隆夫	経営企画課長

## 新採職員の紹介



うえの すみとも  
**上野 純朋**



45才 栃木県・那須塩原市  
配属: 福祉介護課福祉介護係  
趣味: ロードバイクでサイクリング  
庄内地域について学び、地域の皆様の支えになるよう頑張ります。

## 庄内町秋のフラワーショー開催!

庄内町の花き生産者の皆さんのが心を込めて育てた花の品評会です。ストックなどの季節の花のほか、フラワーアレンジメントも展示します。ぜひお越しください。

### 『花の展示』

- 日時／11月17日㈭ 午後1時30分～19日㈯ 午前11時00分
- 場所／庄内町文化創造館 講ホール

### 『花の販売』

展示した花をお買い得価格で販売します。購入希望の方は、事前に抽選用紙の投函をお願いします。なお、抽選方法が昨年度から変更となりましたので、ご注意ください。(今夏と同様、詳しくは庄内町HPをご覧ください)。

- 抽選受付／11月17日㈭ 午後1時30分～19日㈯ 午前11時00分
- 購入受付／11月19日㈯ 午後1時00分～午後3時00分

■問合せ／庄内町花き振興会事務局(庄内町農林課農産係)  
☎0234-42-0178



## 県少年の主張大会受賞校へ農産物を贈呈

JJA庄内たがわ櫛引支所は10月6日、令和4年9月25日に山形県国際プラザで開催された「県少年の主張大会」において最優秀賞に輝いた櫛引中学校3年生の渡部香子さんと中学校に対し、地域に育つ担い手への支援として櫛引地域の農産物を贈りました。



渡部 梨奈さん(24)・麻衣さん(21) 柳引支所管内

(梨奈さん左) 事務の仕事をしています。休日は姉妹でアイドルのDVD鑑賞を行っています。大晦日に行われるカウントダウンライブに行くことが夢です。

(麻衣さん右) 介護福祉士をしています。アイドルのグッズ収集も姉妹でしており、コロナが落ち着いたらコンサートに二人で行きたいです。

撮影場所 = mamakoto café kukupopo

## 「心の声」 あなたが好きな歴史上の人物は?

私が好きな歴史上の人物は、「黒田官兵衛」です。稀代の軍師として豊臣秀吉に仕え、大河ドラマの主人公として知られています。家臣や家族を大切にした武将なので、自分もそのような人になりたいです。K・Yさん【朝日】

偉人伝で読んだ野口英世やエジソン・ナイチンゲールは好きより尊敬だし。ぼつと浮かぶのは幕末の志士、坂本龍馬かな。映画やドラマの影響かなり受けますけどね。

T・Oさん【新余目】

大好きな大好きなゴッホさんです。10代の頃から東京都内の美術館へ。ゴッホの作品からは勇気をもらいます。日本画では大好きな奥村土牛です。絵画は私の良き恋人です。

やはり徳川家康です。「鳴かぬなら鳴くまで待とうホトトギス」この句のよな忍耐力と状況を見極める冷静な姿勢と能力、私も身につけたいものです。来年の大河ドラマも今から楽しみです。S・Sさん【温海】

千利休です。深いことはわかららないのですが、今一番知りたい歴史上の人です。お茶を極めた人ぐらいしか知らないかもしれません。とてもなく大きな人物で知れば知るほど興味が湧いてきます。S・Mさん【新潟県】

aito Nov 2022  
No.332



ホームページ



イトウ・中内たかわ農業協同組合  
〒999-7611  
山形県鶴岡市上最寄字柳中下3-1  
TEL 0235-64-3000  
電子メール trawaway@itou.jp  
印刷／庄内農村工業

